

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2022年10月～2023年9月】

株式会社 柿沼製作所



《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営計画の取組結果と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-7

1. 環境経営方針

〔基本理念〕

私たちは、かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題のひとつと認識し、地球環境に配慮した事業活動に努める

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組む

1. 当社の主力事業である、機能部品の切削加工から完成品出荷までの各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努める
 - ①省エネ活動による二酸化炭素排出量削減
 - ②廃棄物排出量削減
 - ③水使用量の削減
 - ④化学物質使用量の削減及び管理の徹底
 - ⑤ムダのない工程・工場造り
2. 環境経営計画の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し取り組み、常に継続的な改善と運営内容を見直す
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守する
4. 環境経営方針は全社員に周知するとともに環境教育を行い、社員の環境に関する意識の向上を図る

2017年 11月 15日
2018年 10月 1日改定
株式会社 柿沼製作所

代表取締役社長 柿沼正博

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

株式会社 柿沼製作所

代表取締役社長 柿沼正博



2. 所在地

〒370-0724 群馬県邑楽郡千代田町下中森314-1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 柿沼 正博

環境管理責任者 : 柿沼 正憲

EA21事務局/担当 : 老沼 作明・茂呂 均

TEL : 0276-86-2097

FAX : 0276-86-5527

URL : <http://www.kakinuma-ss.co.jp>

4. 対象範囲

株式会社 柿沼製作所 全組織及び全活動

5. 事業の内容

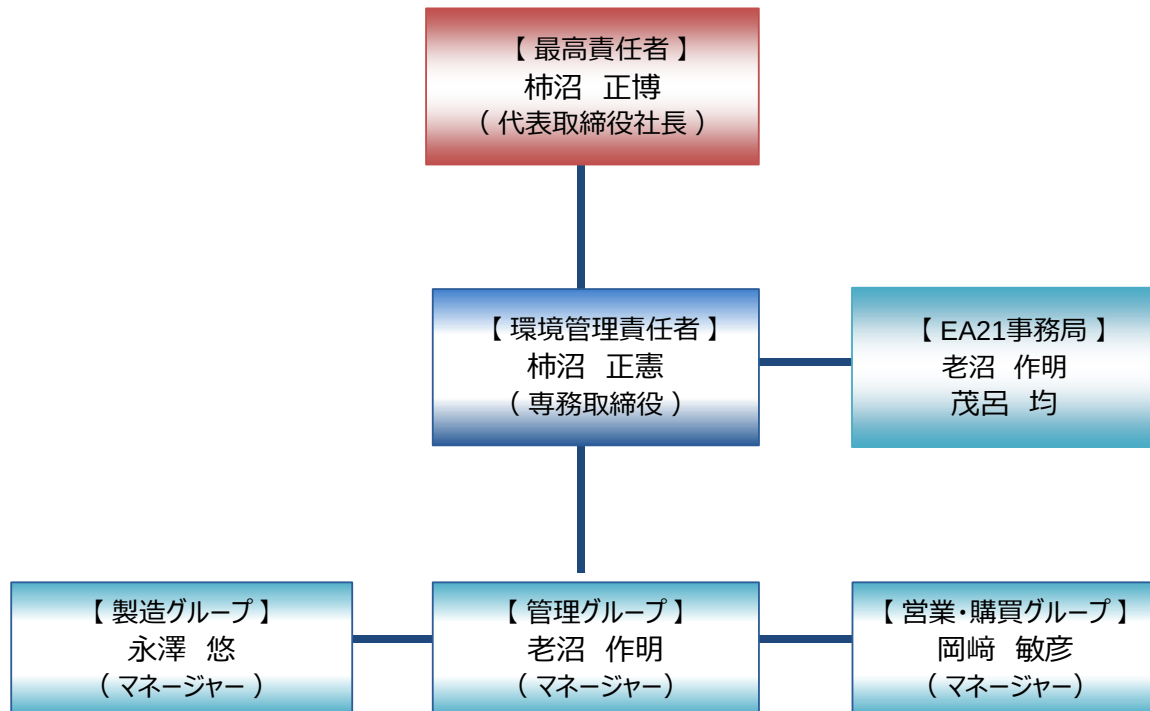
輸送用機能部品、工作機械用機能部品などの部品加工及び販売

6. 事業規模

活動規模	単位	2022年	2023年
売上高	百万円	1600	2000
従業員数	人	58	58
延べ面積	m ²	7920	7920

3.エコアクション21 推進体制

推進組織図



役割一覧

職 名	役 割
最高責任者	【代表取締役 柿沼 正博】 ① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③ 環境経営方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【柿沼 正憲】 ① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【老沼 作明・茂呂 均】 ① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

4. 環境目標とその実績

1. 環境目標とその実績

* 購入電力の排出係数は、北陸電力の実績0.574kw-co2を使用しています。

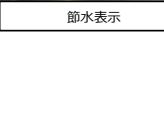
監視項目	基準値	今年度目標			中長期目標		環境目標監視項目の実績と今後の目標推移
	2021年	2023年			2024年	2025年	
	実績	目標	目標値	実績	目標	目標	
① 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	791,125	2021年実績対比4%減	759,480	872,682 10.3%増 目標未達 (×)	2021年実績対比7%減 評価方法変更		
② 二酸化炭素排出量の削減 ((kg-CO ₂)/万円)	新評価方法 2020年売上比率 (7.49)	2020年実績対比88%	88%	55% (4.16) 目標達成 (○)	2020年実績対比85%	2020年実績対比82%	
③ 一般廃棄物・産業廃棄物排出量の削減 (t)	38.90	2021年実績対比2%減	38.12	32.63 16.1%減 目標達成 (○)	2021年実績対比3%減	2021年実績対比4%減	
④ 水資源投入量の削減 (m ³)	2,950	2021年実績対比2%減	2,891	994 大幅減 目標達成 (○)	2021年実績対比3%減	2021年実績対比4%減	
⑤ 化学物質取扱及びジクロロメタン購入量の削減 (kg)	1,600	2021年実績対比2%減	1,568	1,227 23.3%減 目標達成 (○)	2021年実績対比3%減	2021年実績対比4%減	
⑥ 本業に関する目標工程内不良の損失費用の低減 (円)	3,460,571	2021年実績対比20%減	2,768,457	4,405,860 27.32%増 目標未達 (×)	260万	(240万)	

2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
① 二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	801,730	801,094	780,399	749,839	791,125	798,842	872,682
② 廃棄物排出量 (t)	0.24	0.235	0.228	33.28	38.90	36.40	32.63
③ 水資源投入量 (m ³)	1,724	1,998	1,874	1511.5	2950	252	994

5. 環境経営計画の取組結果と評価

* 2022年10月～2023年9月の12ヶ月の活動の取組結果を評価をしております。

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価	実績	
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度管理（冷房27℃ 暖房22℃） ②照明・P C電源不要時のO F Fの推進 ③エアコン清掃の実施 ④自動化設備の拡大 ⑤重点エリアの要員効率UP ⑥新工場新設による生産性向上ができる工場づくり ⑦海外調達品の拡大 ⑧目標達成状況・活動進捗状況確認	【本年度の結果と評価】 ・ガソリンはエコドライブ推進により27.41%削減できた ・軽油はエコドライブ推進により53.10%削減できた ・二酸化炭素排出量は10.3%増加した 【次年度の取り組み】 ・電気使用量の評価方法を売上比率に変更する ・省エネ設備の導入（継続） ・省人化ロボットの導入 ・生産性向上（要員効率up）活動（継続）による電気使用量削減 ・空調、照明の節電（継続） ・公共交通機関使用によるガソリン削減	 空調温度管理	 生産性向上ができるレイアウト変更
		 省エネ設備導入	 自動化設備の拡大
		 重点エリアの要員効率UP	 海外調達品の拡大
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③廃棄物排出量の集計 ④裏紙使用を意識付ける ⑤プロジェクターを活用しペーパーレスを心がける ⑥副資材を管理部で発注・管理 ⑦目標達成状況・活動進捗状況確認	【本年度の結果と評価】 ・削減率-16%で削減目標は充分達成できた（削減施策の定着） 【次年度取り組み】 ・朝礼時のミニマネジメントレビューや会議等をプロジェクター等に変更しペーパーレス化を進めていく（継続） ・裏紙の使用や、データ保存によるペーパーレス化を進めていく（継続） ・実績報告を出来るだけ纏めて印刷枚数を減らしていく（継続）	 廃棄物置き場の拡大と整備	 モニター活用によるペーパーレス化
		 副資材・管理部発注管理	
3. 水資源投入量の削減 ①バルブの調整により水量を調整 ②節水を呼びかけ意識付ける ③目標達成状況・活動進捗状況確認	【本年度の結果と評価】 ・削減率-66.31%で削減目標は充分達成できた 【次年度取り組み】 ・全従業員に節水を心がけるよう指示する（継続）	 節水表示	
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①ジクロロメタンの購入量の削減 ②代替品の検討 ③目標達成状況・活動進捗状況確認	【本年度の結果と評価】 ・削減率-23.3%で削減目標は充分達成できた 洗浄機使用機種の受注減の影響 【次年度取り組み】 ・購入量の削減（継続）	 一部の製品のみ	
5. 本業に関する目標 (工程内不良の損失費用の低減) ①工程内不良の源流改善と撲滅 ②目標達成状況・活動進捗状況確認	【本年度の結果と評価】 ・前年比では減少しているが、目標比では+27.32%増加した 【次年度取り組み】 ・削減活動の活性化を促す（継続）	 工程内不良の源流改善	

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	規制地域外で該当しない	-
公害防止組織整備法	公害防止管理者選任届	遵法
水質汚濁防止法	特定施設の届け出/日常点検実施	遵法
フロン排出抑制法	1回/3ヶ月の記録は簡易点検 1回/3年の記録は定期点検	遵法
浄化槽法	水質検査記録（11条検査） 保守点検表	遵法
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニ フェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法
PRTR法	排出量の把握及び届出	遵法
労働安全衛生法	作業環境測定の実施 （6ヶ月以内に1回）	遵法
悪臭防止法	近隣から苦情があった場合のみ対応	-
消防法	防火管理者の届出 消火設備の点検	遵法
群馬県の生活環境を保全する条例	水質汚濁防止法、騒音規制法、振 動規制法の特定施設の管理	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による評価コメント

本年度は国内生産に比べ海外生産の伸びがあり、売り上げ1万円あたりのC O 2 発生量が抑えられました。今後は国外生産が減るため国内生産を伸ばす予定ですので、引き続き設備の稼働率、不良率の削減に取り組み国内での実質CO2削減をしてください